

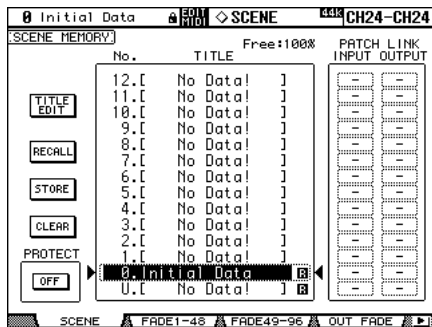
YAMAHA DM2000アップデートV1.1

本書ではDM2000アップデートバージョン1.1の新規 / 改訂機能について説明します。

シーンメモリーとインプット / アウトプットパッチのリンク

インプット / アウトプットパッチライブラリーをシーンメモリーにリンクさせて、シーンをリコールしたときにインプット / アウトプットパッチ設定も同時にリコールできます。

PATCH LINK INPUT/OUTPUT 欄が以下の SCENE MEMORY ページに追加されました。このページは、SCENE MEMORY[DISPLAY]キーを押して表示させます。



カーソルキーでPATCH LINK INPUT/OUTPUT欄を選択し、パラメーターホイールでインプットパッチ / アウトプットパッチライブラリーを選択し、[ENTER]キーを押してリンクを設定します。パッチライブラリーが選択されていない場合は「 - 」が表示されます。

シーンをストアするとき、最後にリコールあるいはストアされたインプットパッチとアウトプットパッチのライブラリー - 番号が自動的にストアするシーンにリンクされます。

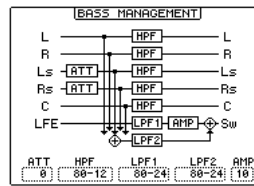
リンクしたインプット / アウトプットのパッチライブラリーにデータがない場合、シーンだけがリコールされ、インプット / アウトプットのパッチはそのまま残ります。

3-1/ST モニターマトリックスのベースマネジメント

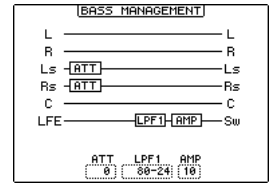
ベースマネジメントが5.1モニターマトリックスだけでなく3-1およびステレオアウトのモニターマトリックスでも使用できるようになりました。3-1または5.1サラウンドモードでMONITOR[DISPLAY]キーを押してSURROUND MONITOR SETUPページを表示させ設定します。

以下の画面は5.1、3-1、ステレオのモニターマトリックス用のベースマネジメント設定(オン/オフ)列です。

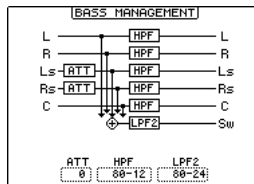
5.1 ON



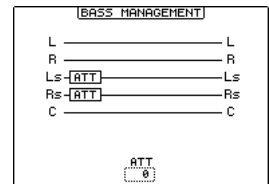
5.1 OFF



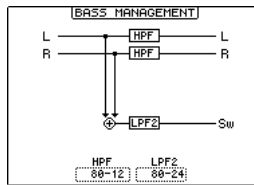
3-1 ON



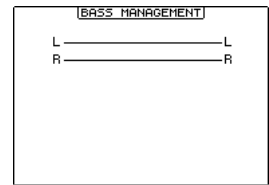
3-1 OFF



ST ON



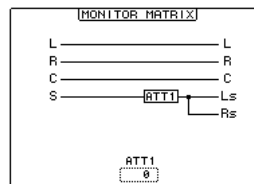
ST OFF



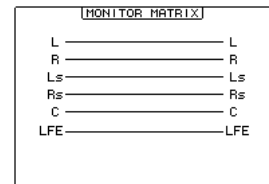
ノート : MONITOR MATRIXを3.1モードに設定した場合は、適正なモニター環境を得るために映像ソースでもベースマネジメントのプリセット1と2を使用してください。プリセット3と4では正しいモニターができません。

V1.1 ではモニターマトリックス設定も下記のように変更されています。(5.1 5.1マトリックスは変更されていません。)

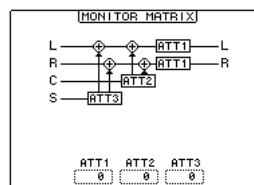
3-1 3-1



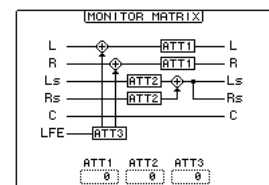
5.1 5.1



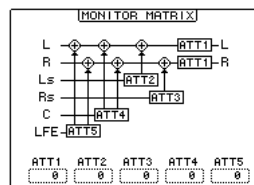
3-1 ST



5.1 3-1



5.1 ST



リモートレイヤー以外でのDAWコントロール以前のソフトウェアバージョンでは、リモートレイヤー選択時のみ、DM2000 のトランスポートコントロール、ロケーター、トラックアームング、シャトル、スクラブを使って外部DAWをコントロールできました。V1.1では選択しているレイヤーに関係なくDAWをコントロールできます。

以下の5つのページ画面に MACHINE CONTROL ボタンと DAW CONTROL ボタンが追加されました。このうち MACHINE CONFIGURATION ページと LOCATE MEMORY ページは LOCATOR [DISPLAY] キーで表示させ、TRACK ARMING GROUP、MTR TRACK ARMING CONFIGURATION、MASTER TRACK ARMING CONFIGURATION の各ページは TRACK ARMING [DISPLAY] キーで表示させます。

MACHINE CONFIGURATION ページ

MACHINE	TYPE	PORT	DEVICE ID	TRANSPORT CONTROL	CHASE CONTROL	MASTER (MTR)
1	MMC	MYID	1	ENABLED	DISABLED	MTR
2	MMC	SERIAL (1)	2	DISABLED	ENABLED	MTR
3	MMC	SLOT (1)	3	DISABLED	ENABLED	MTR
4	MMC	USB (2)	4	DISABLED	DISABLED	MASTER
5	P2			DISABLED	DISABLED	MTR
6	NONE			DISABLED	DISABLED	MTR
7	NONE			DISABLED	DISABLED	MTR
8	NONE			DISABLED	DISABLED	MTR

LOCATE MEMORY ページ

LOCATE MEMORY	TIME
1	00:01:01.01
2	00:01:02.04
3	00:01:05.06
4	00:01:07.12
5	00:01:12.02
6	00:01:25.18
7	00:00:00.00
8	00:00:00.00
IN	00:00:00.00
OUT	00:00:00.01
RTZ	00:00:00.00

PREROLL TIME [5] SEC
 POSTROLL TIME [5] SEC
 ROLLBACK TIME [5] SEC

TRACK ARMING GROUP ページ

GROUP A CLEAR
 1 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24

GROUP B CLEAR
 1 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24

GROUP C CLEAR
 1 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24

GROUP D CLEAR
 1 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24

MTR TRACK ARMING CONFIGURATION ページ

TRACK	MACHINE	TARGET TRACK	TRACK	MACHINE	TARGET TRACK
1	1	1	13	NONE	-
2	1	2	14	NONE	-
3	1	3	15	NONE	-
4	1	4	16	NONE	-
5	2	1	17	NONE	-
6	2	2	18	NONE	-
7	2	3	19	NONE	-
8	2	4	20	NONE	-
9	8	96	21	NONE	-
10	NONE	-	22	NONE	-
11	NONE	-	23	NONE	-
12	NONE	-	24	NONE	-

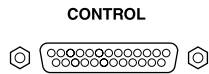
MASTER TRACK ARMING CONFIGURATION ページ

TRACK	MACHINE	TARGET TRACK	TRACK	MACHINE	TARGET TRACK
1	1	1	13	NONE	-
2	1	2	14	NONE	-
3	1	3	15	NONE	-
4	1	4	16	NONE	-
5	4	1	17	NONE	-
6	4	2	18	NONE	-
7	4	3	19	NONE	-
8	4	96	20	NONE	-
9	NONE	-	21	NONE	-
10	NONE	-	22	NONE	-
11	NONE	-	23	NONE	-
12	NONE	-	24	NONE	-

[MACHINE CONTROL] ボタンをオンにすると、外部 MMC/P2 機器がコントロールできます。ただし、DAW リモートレイヤーを選択した場合は、DAW がコントロール対象になります。また、[DAW CONTROL] ボタンをオンにすると、選択レイヤーに関係なく DAW がコントロールできます。

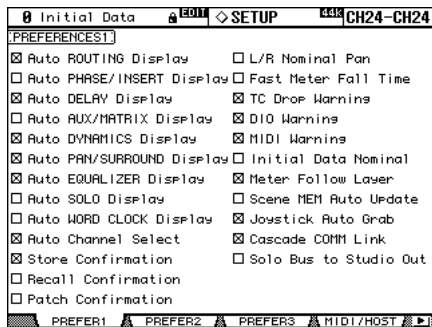
CONTROL 端子からのディマーとトークバックコントロール

コントロールルーム、サウンドモニターディマー、トークバック機能がCONTROL端子を介してリモートコントロールできるようになりました。



GPIO入力(ピン22)がLow(グラウンド)になるたびに、トークバックがオン/オフします。また GPI1 入力(ピン10)がLow(グラウンド)になるたびに、ディマーがオン/オフします。

Solo to Studio Out(ソロ スタジオアウト) PREFERENCES 1ページ(DISPLAY ACCESS[SETUP]キーで表示)に新しく「Solo Bus to Studio Out」プリファレンスが追加されました。このプリファレンスをオンにすると、STUDIO MONITOR OUT端子を通してソロチャンネルがモニターできます。



この「Solo Bus to Studio Out」プリファレンスをオンにして、MONITOR セクションのSTUDIO キー([CONTROL ROOM][STEREO][AUX 11][AUX 12]キー)をすべてオフにすると、チャンネルをソロにしたときにソロ信号がSTUDIO MONITOR OUT端子から出力されます。

ユーザー定義キー

USER DEFINED KEYS(ユーザー定義キー)に割り当て可能な機能が追加されました。

#	機能	ディスプレイ
161	Surr Lib. Recall + 1	Surr Lib + 1 RCL
162	Surr Lib. Recall - 1	Surr Lib - 1 RCL
163	Surr Lib. Recall No. XX	Surr LibXX RCL

USER DEFINED KEYSへの機能の割り当ては、USER DEFINED KEYS[DISPLAY]キーでアクセスするUSER DEFINED KEY ASSIGNページで行います。

また、USER DEFINED KEYSのバンクAの初期設定が以下のように変更されました。

#	Bank A
1	SOLO ON
2	No Assign (割り当てなし)
3	No Assign (割り当てなし)

#	Bank A
1	Surr Lib 0 RCL
2	Surr Lib - 1 RCL
3	Surr Lib + 1 RCL

